

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成26年7月3日(2014.7.3)

【公開番号】特開2014-94951(P2014-94951A)

【公開日】平成26年5月22日(2014.5.22)

【年通号数】公開・登録公報2014-027

【出願番号】特願2014-319(P2014-319)

【国際特許分類】

A 6 1 K	38/22	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 P	39/06	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/43	(2006.01)
A 6 1 K	31/185	(2006.01)
A 6 1 K	31/122	(2006.01)
A 6 1 K	31/375	(2006.01)
A 6 1 K	31/355	(2006.01)
A 6 1 K	31/704	(2006.01)
A 6 1 K	31/4422	(2006.01)
A 6 1 K	31/403	(2006.01)
A 6 1 P	7/10	(2006.01)
A 6 1 P	9/06	(2006.01)
A 6 1 P	9/04	(2006.01)
A 6 1 P	25/24	(2006.01)
A 6 1 P	25/18	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 K	38/21	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/5415	(2006.01)
A 6 1 K	31/55	(2006.01)
A 6 1 K	31/335	(2006.01)
A 6 1 K	31/137	(2006.01)
A 6 1 P	35/02	(2006.01)
A 6 1 K	31/616	(2006.01)
A 6 1 K	31/46	(2006.01)
A 6 1 K	31/401	(2006.01)
A 6 1 K	38/55	(2006.01)
A 6 1 K	31/21	(2006.01)
A 6 1 K	31/554	(2006.01)
A 6 1 K	31/138	(2006.01)
A 6 1 K	31/165	(2006.01)
A 6 1 K	31/5377	(2006.01)
A 6 1 P	7/02	(2006.01)
A 6 1 K	38/46	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K	37/24	Z N A
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 P	39/06	
A 6 1 P	43/00	1 2 1
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 K	31/43	
A 6 1 K	31/185	
A 6 1 K	31/122	
A 6 1 K	31/375	
A 6 1 K	31/355	
A 6 1 K	31/704	
A 6 1 K	31/4422	
A 6 1 K	31/403	
A 6 1 P	7/10	
A 6 1 P	9/06	
A 6 1 P	9/04	
A 6 1 P	25/24	
A 6 1 P	25/18	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 K	37/66	Z
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 P	31/00	
A 6 1 K	31/5415	
A 6 1 K	31/55	
A 6 1 K	31/335	
A 6 1 K	31/137	
A 6 1 P	35/02	
A 6 1 K	31/616	
A 6 1 K	31/46	
A 6 1 K	31/401	
A 6 1 K	37/64	
A 6 1 K	31/21	
A 6 1 K	31/554	
A 6 1 K	31/138	
A 6 1 K	31/165	
A 6 1 K	31/5377	
A 6 1 P	7/02	
A 6 1 K	37/54	
A 6 1 P	9/10	

【 手続補正書 】

【 提出日 】 平成26年4月15日 (2014.4.15)

【 手続補正 1 】

【 補正対象書類名 】 特許請求の範囲

【 補正対象項目名 】 全文

【 補正方法 】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

組み合わせであって、有効量のニューレギュリントタンパク質もしくはその機能的フラグメント、またはニューレギュリントタンパク質もしくはその機能的フラグメントをコードする核酸、または該ニューレギュリンの産生および／もしくは機能を増強する薬剤、ならびにウイルス性心筋炎もしくは拡張型（うっ血性）心筋症（DCM）のための有効量の予防剤もしくは治療剤を含む、組み合わせ。

【請求項 2】

哺乳動物におけるウイルス性心筋炎または拡張型（うっ血性）心筋症（DCM）を予防、処置、または遅延するための組成物であって、有効量のニューレギュリントタンパク質もしくはその機能的フラグメント、またはニューレギュリントタンパク質もしくはその機能的フラグメントをコードする核酸、または該ニューレギュリンの産生および／もしくは機能を増強する薬剤を含み、それによって、該ウイルス性心筋炎またはDCMが予防、処置、または遅延される、組成物。

【請求項 3】

その予防、処置、または遅延が必要とされるかまたは望ましい哺乳動物における心臓毒性を予防、処置、または遅延するためのキットであって、有効量の予防剤または治療剤、および有効量の（i）ニューレギュリントタンパク質もしくはその機能的フラグメント；（ii）ニューレギュリントタンパク質もしくはその機能的フラグメントをコードする核酸；または（iii）該ニューレギュリンの産生もしくは機能を増強する薬剤を含み、それによって、該予防剤または治療剤の投与に伴う心臓毒性が予防、処置、または遅延される、キット。

【請求項 4】

組み合わせであって、有効量のニューレギュリントタンパク質もしくはその機能的フラグメント、またはニューレギュリントタンパク質もしくはその機能的フラグメントをコードする核酸、または該ニューレギュリンの産生および／もしくは機能を増強する薬剤、ならびに心筋梗塞のための有効量の予防剤もしくは治療剤を含む、組み合わせ。

【請求項 5】

哺乳動物における心筋梗塞を予防、処置、または遅延するための組成物であって、有効量のニューレギュリントタンパク質もしくはその機能的フラグメント、またはニューレギュリントタンパク質もしくはその機能的フラグメントをコードする核酸、または該ニューレギュリンの産生および／もしくは機能を増強する薬剤を含み、それによって、該心筋梗塞が予防、処置、または遅延される、組成物。

【請求項 6】

哺乳動物における疾患を予防、処置、または遅延するための薬学的組成物であって、ニューレギュリントタンパク質またはその機能的フラグメントを：

（a）約 170 U / kg 以下の安全用量で；または

（b）約 3,600 U / kg 以下の総レジメンで、

含む、薬学的組成物。